


PRIVACY




自分のデータがどのように集められ、何に使われているのかを知ることができます。

必要があれば企業に修正や削除を求める権利があり、企業はわかりやすい言葉で説明し、ユーザーが自由に管理できる仕組みを用意しています。


## The Moral-IT Deck

## ユーザーデータの権利 User Data Rights



ユーザーが自分のデータについて知る権利と管理する権利があるか

PRIVACY



個人情報を取得する際は、どんな目的で必要かを丁寧に説明し、ユーザーが理解したうえで明確な同意を得ています。

同意した範囲内でのみデータを利用し、ガイドラインに従って厳重に管理することで、目的外利用を防ぎます。


## The Moral-IT Deck

## 個人情報の適切な扱い Proper Data Management



ユーザーの権利を尊重し、ガイドラインへの適切な同意を得られるか

PRIVACY



たとえば、街中のカメラやスマホの位置情報の取得など、個人の特定につながる情報の扱いに配慮します。

データ収集の目的を明確にし、目的が終われば速やかに削除するなど、慎重な管理を行います。

**The Moral-IT Deck**


個人特定リスクへの配慮

Context-Aware Privacy Protection



場所や状況に応じて  
プライバシーが守られているか

PRIVACY



新しいサービスや機能を作る前に、ユーザーのプライバシーにどんな影響があるのかを調べます。

問題が起きる前に対策を考え、プライバシーを守る責任を果たします。

**The Moral-IT Deck**

プライバシーへの  
影響評価

Privacy Impact Assessment



プライバシーへの影響評価を行い、  
対応策を検討したか



個人情報を海外のサーバーに送る時にしっかりと安全対策を取ります。国によって個人情報保護の法律が違うため、どの国に送るのか、そこで情報がどう扱われるのかを明確にし、適切な保護措置を講じます。

The Moral-IT Deck

## 海外への情報移転 International Data Transfer



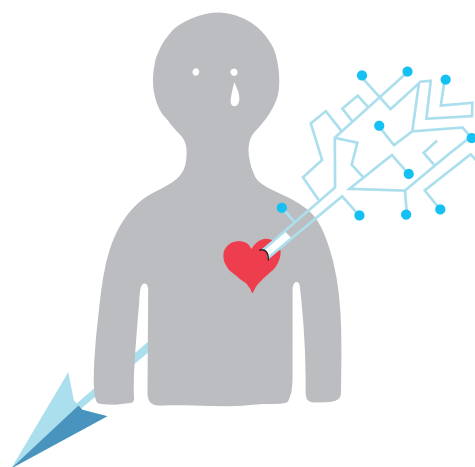
海外に送るデータをどう守るか



ユーザーを一人の人間として尊重し、その尊厳を損なうような情報の扱い方をしません。個人の価値観や人格を軽視するようなデータの活用は行わず、ユーザーの人間性を大切にします。

The Moral-IT Deck

## 人としての尊厳の尊重 Respect for Human Dignity



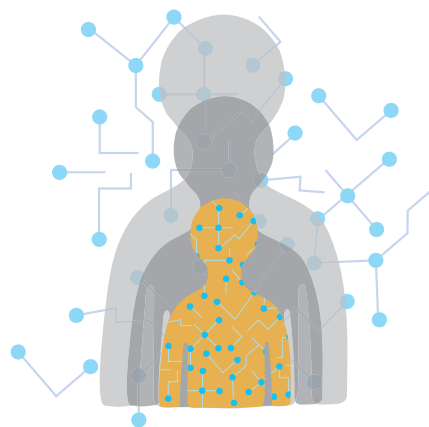
ユーザーの尊厳を損なわないか



本当に必要なデータだけを集め、  
不要になったらすぐに消します。  
余計な情報を持たず、誰が何に  
使うかを明確にしたうえで、ユーザー  
の権利を守ります。

The Moral-IT Deck

## 取得データの最小化 Limited Data Collection



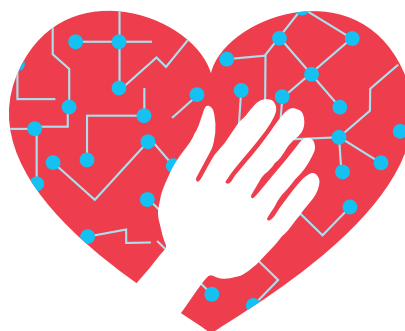
本当に必要なデータだけを  
取得しているか



健康状態・思想・信条・政治的意見・  
出身・性的指向などの特にセンシ  
ティブな個人情報については、より  
厳格な管理と保護を行います。  
これらの情報を取り扱う際には特別  
な注意を払います。


The Moral-IT Deck



## センシティブな個人情報 Sensitive Personal Information



センシティブな情報  
(健康状態、信条、政治、出自、性的指向)  
の取り扱いに注意しているか

ETHICS



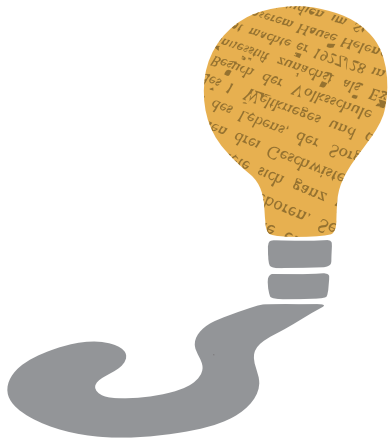


たとえば、AIなどのテクノロジーが  
どうやって判断しているのかを、  
専門用語を使わずに分かりやすく  
説明します。

「なぜそうなるのか」をユーザーが  
理解できるようにし、信頼できる  
関係を築いています。


The Moral-IT Deck



仕組みの分かりやすさ  
Easy to Understand  
and Explain



仕組みが理解しやすく、  
きちんと説明できるか

ETHICS





性別・年齢・出身などに関係なく、  
すべての人が公平にサービス  
を利用できるようにしています。

たとえば、AIが学習するデータ  
にも偏りがないか確認し、差別  
や不利益が生じないように配慮し  
ます。

The Moral-IT Deck

公平性の実現  
Fairness  
and Non-discrimination



差別や偏見がなく、  
公平に扱われているか



ユーザーが自分で設定を変えたり、サービスの利用をやめたりできる権利があります。

企業側の都合ではなく、ユーザーの意思を尊重し、対等な関係を築きます。

The Moral-IT Deck

## 自律的な選択の権利

Right to Make  
Your Own Decisions



ユーザーが自分で自分のことを決められる、  
対等な関係が保たれているか



サービスのルールや約束を守り、透明性を保ちます。

問題が起きたときには迅速かつ誠実に対応し、長期的な信頼関係を築く努力を続けます。

The Moral-IT Deck


## 信頼の構築

Building Trust



人々から信頼されるために、  
どのような取り組みを行っているか

ETHICS



サービスや製品が環境に与える影響を考慮し、エネルギー効率の良いシステムを使ったり、電子廃棄物を減らしたりする取り組みを行います。

サーバーの電力消費を抑える工夫や、リサイクル可能な素材の利用など、環境に優しい技術開発を推進します。

## The Moral-IT Deck


## 持続可能性への配慮

### Consideration for Sustainability



サービスや製品は環境に対してどのような悪影響があるか

ETHICS



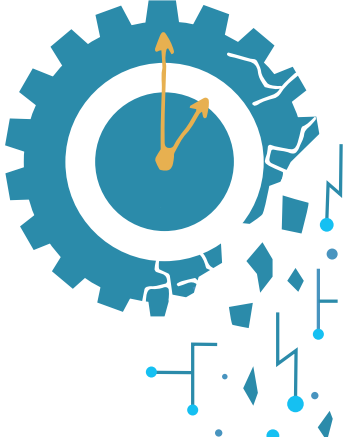
長期間にわたって安定して利用できるサービスを提供します。

技術の進歩や社会の変化にも対応するため、定期的なアップデートやサポート体制を整えています。

## The Moral-IT Deck


## 耐久性



### Durability



長い目でみて、ずっと使い続けられるか

ETHICS





ユーザーの心身の健康や幸福を大切にし、サービスを利用することで生活がより良いものになるよう配慮します。

長時間利用の警告や休憩の促進など、依存や健康被害を防ぎ、有益な体験を提供することを目指しています。


The Moral-IT Deck



ユーザーの幸福と健康  
User Wellbeing



ユーザーの暮らしがより良いものになるか

ETHICS





サービスの開発や改善において、年齢・性別・文化・障害の有無に関わらず、多様な背景を持つ人々が参加できる仕組みを整え、意見を積極的に取り入れています。

ユーザーの声を聞き、社会全体にとって良いサービスになるように努めます。

The Moral-IT Deck

多様な意見の反映と参加  
Inclusion and participation



様々な人々の多様な意見が  
取り入れられているか





サービスのルールや判断は、法律を守り、すべての人に公平に適用されています。

管理者の気分で決めるのではなく、誰もが納得できる明確なルールに基づいて運営します。

## The Moral-IT Deck

## 法的公平性 Fair Legal Procedures



法律に基づいて公正な判断がされているか

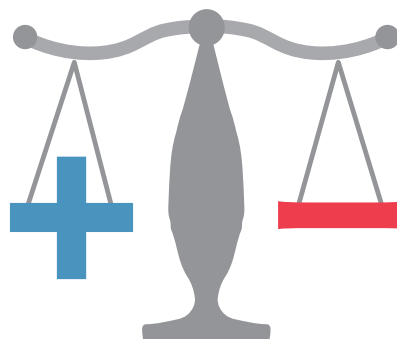


何か問題が起きた時に、誰が法的に責任を取るのかをあらかじめ決めており、対応もリスクに見合ったものになっています。

ユーザーが安心できるよう、隠しごとの無い誠実な体制を整えています。

## The Moral-IT Deck

## 法的責任体制 Legal Accountability



問題発生時の法的な責任体制が整っており、対応が適切か



サービスを導入する前に、関連する法律や規制に基づいて「何が危ないか」をしっかりと検討し、法令遵守の観点から対策を立てます。

万が一の事態にも備え、定められた安全基準を満たした体制を整え、ユーザーの安全を守ります。

**The Moral-IT Deck**

## リスク特定と対策

Identifying Risks  
and Taking Action



危険性を事前に見つけて  
法的な対策を考えているか



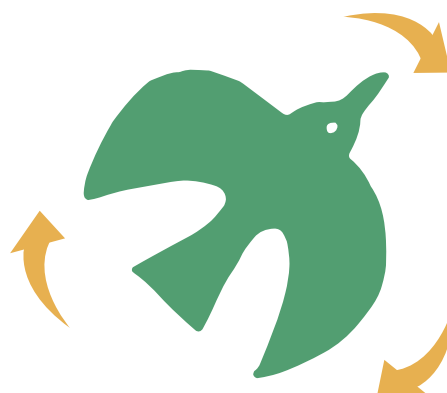
事業活動などが法律に沿って地球環境へ与える影響を最小限に抑えるよう努めています。

省エネルギーや廃棄物削減、温室効果ガス排出規制などの法規制を遵守し、持続可能な事業運営を行います。

**The Moral-IT Deck**

## 環境保護

Environmental Protection



環境に関する法令や規制を遵守しているか



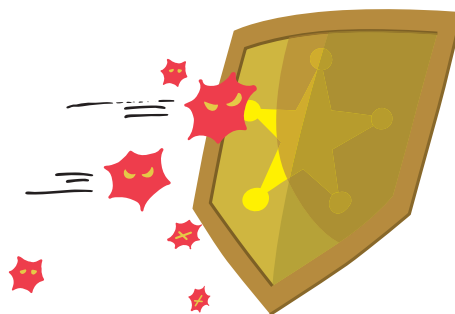
サービスが犯罪行為や反社会的行為に悪用されないよう、適切な防止策を講じます。

ユーザーの身元確認・不正利用の監視・関係機関との連携などを通じて、安全で健全なサービス環境を維持しています。

The Moral-IT Deck

## 悪用・犯罪の防止

### Protection Against Criminal Use



悪用されることをどのように防ぐか



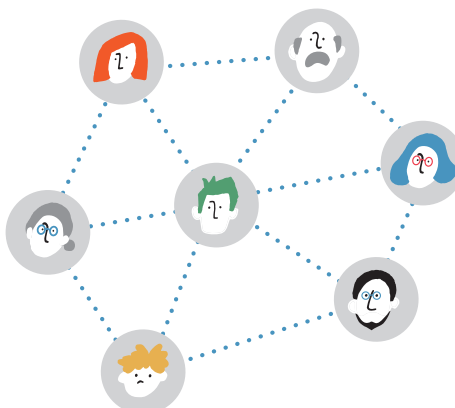
障害のある方や高齢者など、様々な特性を持つ人々が利用しやすいサービス設計を行います。

視覚・聴覚・運動機能などの違いにかかわらず、誰もが平等にサービスを利用できるよう配慮しています。

The Moral-IT Deck

## 誰でも使える設計

### Accessibility Compliance



できるだけ多くの人が使えようとしているか



消費者保護法や関連法令に基づき、ユーザーが被害や不利益を受けないように適切な安全対策と保護措置を講じています。

詐欺・差別・不当な取引などから法律で定められた基準に従ってユーザーを守り、安心してサービスを利用できる環境を整えています。

## The Moral-IT Deck

## ユーザーの保護 User Protection



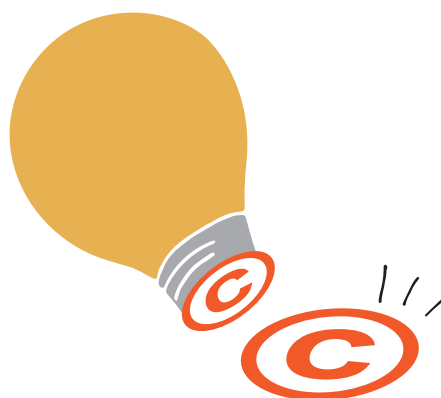
人々を危害や差別から守ることができるか



他の人や企業が作った著作物・特許・商標などの知的財産権を侵害しないよう注意しています。適切な許可を得たり、ライセンス料を支払ったりして、創作者の権利を尊重した事業運営を行っています。


## The Moral-IT Deck



## 知的財産権 Intellectual Property



知的財産権を侵害しないためにどのような対策をとっているか

SECURITY





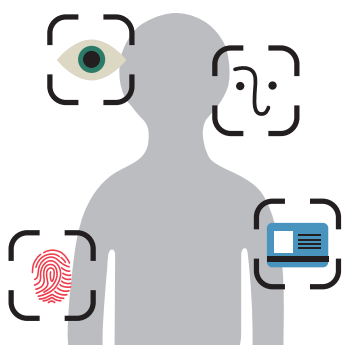
アカウント情報や生体認証データ、ログイン履歴など、インターネット上の身元情報が不正に盗まれたり結びつけられたりしないよう、厳重に管理しています。

必要に応じてパスワード変更や多段階認証を導入し、ユーザーが安心してデジタルサービスを利用できるようにしています。

## The Moral-IT Deck


## デジタルIDの保護と管理



### Safe Management of Digital Identity



インターネット上での自分の情報  
(アカウント・生体認証・ログイン履歴など)  
を安全に維持・管理できるか

SECURITY





企業の技術情報や契約情報などの守るべき情報は、アクセスできる人を制限し、暗号化や利用記録の管理でしっかり守っています。

情報を受け取る相手とは、「どの情報を」「どの用途で」「どの期間使うか」を取り決め、約束を破ると責任を問える仕組みを導入しています。

## The Moral-IT Deck


## 機密情報の保護

### Keeping Secrets Safe



秘密にすべき情報をしっかりと守れるか

SECURITY



セキュリティ機能が複雑すぎて使えないということのないよう、誰でも簡単に使えるようにしています。高齢者や技術に不慣れな人でも、安全に利用できる工夫をしています。


The Moral-IT Deck

誰もが使いやすい  
セキュリティ  
Usable Security



誰もが扱いやすい  
セキュリティ機能を備えているか


SECURITY



いつサーバーが壊れたり、データが消えたりしても、すぐに復旧できるようにしています。情報が間違っても変更されないように守られ、常に正確で安定したサービスを提供しています。


The Moral-IT Deck



システムの安定性  
Stable  
and Accurate Systems



システムが故障に強く、  
データが正確に保たれているか

SECURITY






ユーザーが安心して使える、信頼性の高い技術を採用しています。技術の安全性を証明し、予期しない動作や障害が起きにくいシステムを構築することで、ユーザーからの信頼を得られるように努めています。

The Moral-IT Deck


信頼できる技術



Trustworthy Technology



ユーザーに安全だと信頼してもらえる技術か

SECURITY





もしも、データの侵害や情報の流出が発生した場合に、迅速かつ適切に対応できる体制を整えています。被害の拡大防止・原因調査・関係者への報告、再発防止策の実施などを組織的に行います。

The Moral-IT Deck


情報漏えいの対応



Data Breach Management



情報漏えいの被害を最小限に抑えられるか

SECURITY





サービスの利用がユーザーの身体的な安全を脅かさないように配慮しています。

機器の安全設計・健康への配慮・事故防止対策などを講じ、ユーザーが安心してサービスを利用できる環境を提供しています。

The Moral-IT Deck


## 身体的安全性



### Physical Safety



ユーザーはその技術を安全に使用することができるか

SECURITY






セキュリティ問題が発生した際に、誰が責任を持つのかを明確にし、原因を特定する体制を整えています。

外部からの攻撃でも内部の設定ミスでも、速やかに原因を調査し、被害の拡大を防ぎ、再発防止策を実施します。

The Moral-IT Deck

## セキュリティ問題の責任体制

### Attribution and Responsibility



セキュリティ問題の「原因」と「対応責任」を特定できるか